



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 サイバネットシステム株式会社

コード番号 4312 URL <http://www.cybernet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 高橋 宏

TEL 03-5297-3010

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,183	1.8	381	△37.9	412	△31.2	194	△40.2
24年3月期第2四半期	7,056	6.9	614	137.0	599	113.4	324	△12.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 146百万円 (△44.9%) 24年3月期第2四半期 266百万円 (18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	622.64	—
24年3月期第2四半期	1,041.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,634		12,679			76.2
24年3月期	17,216		12,694			73.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,679百万円 24年3月期 12,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	160.00	—	520.00	680.00
25年3月期	—	520.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	520.00	1,040.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.8	697	10.3	750	7.3	385	28.2	1,235.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	324,000 株	24年3月期	324,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	12,417 株	24年3月期	12,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	311,583 株	24年3月期2Q	311,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループは、経営ビジョン「First Contact Company ～お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい～」の下、新中期経営計画（平成24年4月～平成27年3月）における次の経営基本戦略を推進するために、それらの重点施策を中心に「サイバネットソリューション販売」に取り組んでまいりました。

経営基本戦略と重点施策

- ①新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
様々な領域にまたがる複合・統合ソリューション（マルチドメインソリューション）の推進
 - ②システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）（※1）市場の創造と拡大
複合領域物理モデルシミュレータを利用したシステムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）環境の整備と推進
 - ③顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
自動車業界への拡販戦略
 - ④当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化
韓国進出、北米・欧州販売網の強化
- （※1）システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）とは、自動車・船舶・工作機械・ロボットなどの制御対象が持つ様々な機能を統合的かつ高速にシミュレーションするための手法。

当社は、当期連結業績について、主要顧客のひとつである電機業界の景況感悪化を懸念して厳しい状況を予測しておりました。

当第1四半期会計期間の業績は主力商品を中心とした保守契約が高い更新率を維持するとともに、大型案件の受注等により概ね堅調に推移し、計画を上回る結果となりました。

当第2四半期会計期間は期初の予測通り新規案件が先送りになるなど全般的に厳しい事業活動となりましたが、注力顧客及び新分野の案件並びに情報セキュリティ分野の大型案件等の受注活動は概ね順調に推移いたしました。また、原価率等収益の改善に努めました。

以上の事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は71億83百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は3億81百万円（前年同期比37.9%減）、経常利益は4億12百万円（前年同期比31.2%減）、四半期純利益は1億94百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①CAEソリューションサービス事業

機械系分野は、新規ライセンス販売が全般的には低調でありましたが、注力顧客については順調に推移いたしました。また、保守契約の更新並びにエンジニアリングサービスの展開により、前年同期の水準を維持いたしました。

光学系分野は、照明設計解析ソフトウェアの新規ライセンス販売が低調でしたが、光学設計解析ソフトウェアは高級デジタルカメラの設計・解析需要の高まりから堅調に推移いたしました。

エレクトロニクス分野は、主力EDAソフトウェアの保守契約が前年同期の水準には至りませんでした。また、新規ライセンス販売が堅調であったことにより、概ね前年同期の水準で推移いたしました。そして、システムLSIの上流設計・検証に利用するEDAソフトウェアは、複数年契約を受注するなどソリューション活動が進展してまいりました。一方、PCB分野のエンジニアリングサービスは、顧客の開発案件の減少により、前年同期の水準には至りませんでした。

制御系分野は、当社グループ製品である複合領域物理モデリング環境の新規ライセンス販売が当第2四半期会計期間に大幅に増加したことに加え、エンジニアリングサービスが堅調に推移したことから、前年同期の水準を大きく上回りました。

新分野は、注力商品であるイノベーション支援ソフトウェアと3次元モデラーの新規ライセンス販売及び保守契約の更新が期待した水準には至りませんでした。一方、当社グループ製品である解析プロセス統合/最適化CAEソフトウェアと公差解析ソフトウェアの新規ライセンス販売は、大型案件が第3四半期会計期間以降にスライドするなど、期待した水準には至りませんでした。

汎用可視化処理関連ビジネスは、防災・減災意識の高まりによる都市環境、土木、気象等の分野における解析データの可視化需要が増加し、概ね順調に推移いたしました。一方、医療分野の可視化領域で

は、東日本大震災以降、クラウドによる診断画像管理などの需要が高まりつつあるものの、前年同期の水準には至りませんでした。また、AR (Augmented Reality: 拡張現実) アプリケーション構築ツールは、当第2四半期会計期間に入ってから引合いが増加し、概ね期待通りの水準で推移いたしました。

教育ビジネスの「CAEユニバーシティ」は、大手製造業向けの設計者CAE教育の引き合いが増加しております。

当社グループの海外事業展開においては、連結開発子会社であるWATERLOO MAPLE INC. (カナダ) が開発する複合領域物理モデルシミュレータ及び数式処理ソフトウェアの拡販を目的として、韓国に当社の販売子会社を設立いたしました。また、連結開発子会社であるNoesis Solutions NV (ベルギー) は、解析プロセス統合/最適化CAEソフトウェアの北米市場での拡販を目的として、米国に同社の販売子会社を設立いたしました。

アジアにおける販売事業展開においては、連結子会社である莎益博設計系統商貿(上海)有限公司が北京オフィスを開業いたしました。

以上の結果、売上高は62億41百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は10億17百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

② ITソリューションサービス事業

ITソリューションサービス事業は、顧客のIT投資への投資抑制を懸念しておりましたが、好調に推移いたしました。特に、大型案件の大手情報機器メーカー向けPC監視/遠隔操作ツールやIT資産管理ソリューション及びディスク暗号化ソフトウェア等の企業向けITインフラプロダクトが大幅に伸張いたしました。

さらに、開発元による当社の高いサポート力評価を得て、前期から戦略的に活動を進めていた大口企業向けセキュリティ脅威対策ソリューションの大型入札案件の受注が順調に進捗いたしました。また、セキュリティ関連及びIT資産管理分野におけるエンジニアリングサービスは、大きく計画を上回りました。

以上の結果、売上高は9億41百万円(前年同期比28.4%増)、営業利益は1億11百万円(前年同期比97.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、102億88百万円(前連結会計年度末比3億20百万円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の増加9億円、受取手形及び売掛金の減少2億32百万円、短期貸付金の減少10億円によるものです。

固定資産は、63億45百万円(前連結会計年度末比2億61百万円の減少)となりました。これは主に、のれんの減少1億25百万円、投資有価証券の減少1億1百万円によるものです。

この結果、当第2四半期末における総資産は、166億34百万円(前連結会計年度末比5億82百万円の減少)となりました。

(負債)

流動負債は、32億56百万円(前連結会計年度末比6億9百万円の減少)となりました。これは主に、買掛金の減少2億81百万円、未払法人税等の減少2億53百万円によるものです。

固定負債は、6億99百万円(前連結会計年度末比42百万円の増加)となりました。

この結果、当第2四半期末における負債合計は、39億55百万円(前連結会計年度末比5億67百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は、126億79百万円(前連結会計年度末比15百万円の減少)となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の73.7%から76.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが提供する様々なCAEソリューションサービスは、ものづくり企業の品質向上、開発期間の短縮、開発コスト削減、製品の安全性の向上並びに環境に配慮した製品開発に貢献しております。当社グループは、引き続き営業及びマーケティング並びに技術サポート・開発体制を強化しながら、顧客の複雑かつ高度な課題を解決するために、高付加価値かつ高品質のソリューション提供に注力してまいります。しかしながら、当第3四半期以降の当社グループの経営環境は、一部に積極投資が見られるものの、主要顧客である製造業の業績への影響が予測される国内外の諸要因発生により、先行きの景況感悪化が懸念されていること等を勘案した結果、平成24年4月26日発表の通期業績予想に変更はありません。

[ご参考 平成24年度（平成25年3月期連結業績見通し）]

売上高	140億円	(前年比2.8%増)
経常利益	7億50百万円	(前年比7.3%増)
当期純利益	3億85百万円	(前年比28.2%増)

(注) 上記連結業績見通しに関する注意事項

- 平成24年度（平成25年3月期）連結業績予想値は、いずれも業界等の動向、国内及び海外の経済状況、為替相場などの要因について、現時点で入手可能な情報をもとに行った見通しであります。そのため、上記連結業績予想数値はこれらの要因の変動により大きく異なる場合があります。
- 上記の連結業績見通しの算定に使用しました当期の為替相場は、84円/米ドルを想定したものであり、計画に基づいたドル建て原価の83%相当額を平均約78円/米ドルで為替予約済みであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,842,031	2,742,349
受取手形及び売掛金	3,383,561	3,150,699
有価証券	121,967	215,269
商品及び製品	23,449	26,823
仕掛品	17,318	22,786
原材料及び貯蔵品	8,175	6,980
短期貸付金	4,000,000	3,000,000
その他	1,215,852	1,129,322
貸倒引当金	△3,019	△5,480
流動資産合計	10,609,336	10,288,750
固定資産		
有形固定資産	296,440	294,404
無形固定資産		
のれん	2,968,272	2,842,315
その他	195,153	159,336
無形固定資産合計	3,163,426	3,001,652
投資その他の資産		
投資有価証券	2,722,627	2,620,932
その他	438,648	441,006
貸倒引当金	△13,637	△12,317
投資その他の資産合計	3,147,638	3,049,622
固定資産合計	6,607,505	6,345,679
資産合計	17,216,841	16,634,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,419,899	1,138,736
未払法人税等	499,504	245,594
賞与引当金	430,349	362,871
役員賞与引当金	22,240	11,380
その他	1,493,309	1,497,470
流動負債合計	3,865,302	3,256,052
固定負債		
退職給付引当金	625,553	668,477
その他	31,348	30,601
固定負債合計	656,902	699,078
負債合計	4,522,205	3,955,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,127,276	12,159,258
自己株式	△781,567	△781,567
株主資本合計	13,249,709	13,281,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152,859	△171,628
繰延ヘッジ損益	43,686	△5,934
為替換算調整勘定	△445,900	△424,829
その他の包括利益累計額合計	△555,072	△602,393
純資産合計	12,694,636	12,679,298
負債純資産合計	17,216,841	16,634,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,056,003	7,183,275
売上原価	4,024,826	4,168,212
売上総利益	3,031,177	3,015,062
販売費及び一般管理費	2,416,873	2,633,719
営業利益	614,303	381,343
営業外収益		
受取利息	13,266	15,723
受取配当金	—	2,536
助成金収入	23,289	20,395
その他	6,885	2,588
営業外収益合計	43,440	41,244
営業外費用		
売上割引	120	137
為替差損	58,060	9,915
その他	—	225
営業外費用合計	58,181	10,278
経常利益	599,562	412,309
特別利益		
投資有価証券売却益	41,257	5,036
特別利益合計	41,257	5,036
特別損失		
固定資産売却損	433	509
固定資産除却損	1,396	146
特別損失合計	1,829	656
税金等調整前四半期純利益	638,989	416,689
法人税、住民税及び事業税	294,850	194,705
法人税等調整額	19,601	27,977
法人税等合計	314,452	222,683
少数株主損益調整前四半期純利益	324,537	194,005
少数株主利益	—	—
四半期純利益	324,537	194,005

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324,537	194,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,063	△18,769
繰延ヘッジ損益	△50,889	△49,621
為替換算調整勘定	79,663	21,070
その他の包括利益合計	△58,290	△47,320
四半期包括利益	266,247	146,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,247	146,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。